

2017年1月

【新刊発売のご案内】

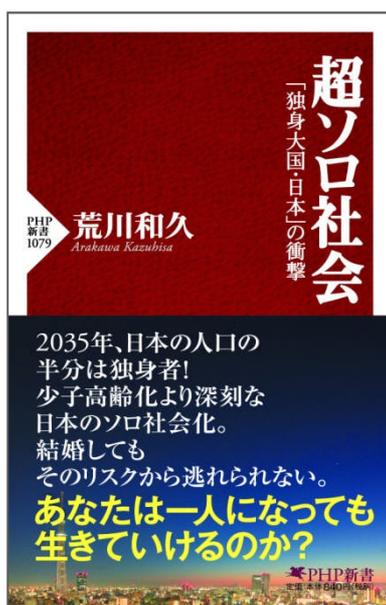
『超ソロ社会 「独身大国・日本」の衝撃』

著：荒川 和久（博報堂ソロ活動系男子研究プロジェクト・リーダー）

博報堂ソロ活動系男子研究プロジェクト・リーダーの荒川和久が、確実に進行する日本のソロ社会化について解説・提言する書籍『超ソロ社会 「独身大国・日本」の衝撃』を出版いたしましたのでお知らせします。

約20年後の2035年、日本の人口の半分は独身です。未婚化・非婚化に加え、離婚率の上昇や配偶者の死別による高齢単身者の増加など、確実に「ソロ社会」は進行していきます。この「ソロ社会」こそ、日本が世界に先駆けて直面する課題。「個」の生活意識や消費意識、価値観はどのように変化していくのか。2014年からソロ活動系男子（ソロ男）プロジェクトを立ち上げ、現在はソロ活動系女子（ソロ女）まで対象を拡大、独身生活者を広く研究する荒川が、日本の未来を問う内容です。

本書を通じ、ソロ社会という新たな課題にどのように対処していくべきか、道筋のカギやヒントを掴んでいただけますと幸いです。



『超ソロ社会 「独身大国・日本」の衝撃』

著：荒川 和久

（博報堂ソロ活動系男子研究プロジェクト・リーダー）

ページ数：277 ページ

定価：840 円+税

発行：PHP 研究所

書店発売日：2017年1月14日（土）

目次

第1章 増えるソロで生きる人たち

過去最高記録を更新、生涯未婚率／未婚が増えた原因／未婚者は社会悪なのか？／生涯未婚率より深刻な生涯無子率／根強い日本の結婚規範／結婚のメリットもデメリットも金

第2章 ソロで生きる人々を許さない社会

9割が結婚したいというデータの嘘／働く女性が増える社会は非婚化へ進む／バリバリ働く女性ほど未婚率が高い／女性の上方婚狙い／未婚者に厳しい社会「ソロハラ」という精神的虐待／結婚しない奴は昇進させない／協調性や共感性のない奴を許さない日本社会

第3章 男たちは嫌婚になったのか

男たちは恋愛できなくなったのか？／男たちはセックスできなくなったのか？／男たちは告白ができなくなったのか？／付き合うための告白という文化のルーツとは何か？／日本男児はそもそも受け身／男たちは金がないから結婚できないのか？／男たちが女性の若さにこだわる理由／結婚しない男の見分け方

第4章 結婚してもソロに戻る人たち

取り残される高齢ソロ女性たち／3組に1組は離婚する現代／増える熟年離婚／離婚の主導権は妻／夫たちに必要な「人生三分の計」／初婚同士の婚姻は減って、再婚が増えている／江戸時代の離婚率は世界トップクラス／江戸時代の離婚も経済的理由／江戸時代のほうが男女とも自立していた／離婚されると自殺してしまう現代の夫たち／配偶者に依存しすぎる日本の夫婦／単身世帯4割の時代へ／家族という自己責任論の悲劇

第5章 ソロたちの消費

消費を牽引するソロ生活者たち／ひとりで一家族分消費するソロ男たち／ソロ生活時間が増えていく／消費の単位が「群」から「個」へ／時代とともに移り変わる消費意識／モノ消費からコト消費へ、そして次なる段階へ／未完成こそが達成感の連鎖を生む／消費の形が「個と個」の向きあいへ

第6章 ソロ社会の未来

ソロ生活者は幸福ではない？／家族とソロでは幸せの貯蔵庫が違う／ソロ社会は孤立社会ではない／ソロ充という言葉が生まれた訳／ソロで生きる力が必要になる／ソロで生きるには人とのつながりが前提／ソロで生きるには自分を愛すること／「本当の自分」はどこにいるのか？／シングルリティとソロ社会／恋愛と性欲の分離が生まれる／家族とソロ社会とは対立しない

著者プロフィール

荒川 和久(あらかわ・かずひさ) / 博報堂ソロ活動系男子研究プロジェクト・リーダー

早稲田大学法学部卒業。博報堂入社後、自動車・飲料・ビール・食品・化粧品・映画・流通・通販・住宅等幅広い業種の企業業務を担当。キャラクター開発やアンテナショップ、レストラン運営も手掛ける。独身生活者研究の第一人者として、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・WEBメディア多数出演。著書に『結婚しない男たち 増え続ける未婚男性ソロ男のリアル』(ディスカヴァー携書)がある。